

2020.10月発行

社会福祉法人武蔵野
武蔵野市障害者福祉センター

〒180-0011
武蔵野市八幡町4-28-13

Tel 0422-55-3825
Fax 0422-51-9951

アクセス 

JR三鷹駅北口・JR吉祥寺駅北口
より「関東バス 2番乗り場」
柳沢 駅行き
『武蔵野中央公園』下車
徒歩5分

HP <https://fuku-musashino.or.jp/>

むさしのししょうがいしゃふくし
武蔵野市障害者福祉センターは、様々な感染症予防対策を行っています。



マスクの着用



検温



手指の消毒



ソーシャルディスタンスの確保



連絡先の確認



食事の禁止

生活リハビリサポートすばる

自立訓練では、運動や机での作業もマスクを着用して行っていますので、気温を確認したり、こまめな水分摂取を促して、体調管理にも気を付けています。また、共有して使用する平行棒やマットなどは、使用者及びスタッフがその都度消毒するように心がけています。



生活介護では、お迎え時に検温を実施し、活動室内では職員も利用者も共にマスクを着用し、各席には飛沫防止の手作りシートを天井から下げ、活動前にはアルコール除菌シートで各自机を拭いてもらっています。他には、グループ体操を行う時には、距離を取るようになっています。

ご利用者のみなさんが楽しみにしている外出活動や散歩などの活動も自粛しているので、引き続き感染予防対策をしっかりと、コロナ終息までがんばりましょう。

千川作業所 & 千川おひさま幼児教室・千川さくらっこクラブ

千川作業所では、感染症対策として、毎日利用者の皆さんも職員も自宅検温をして、発熱症状がないことを確認してから通所していただいています。作業所に到着してから再度検温しています。また、手洗い、消毒を徹底し、マスクを着用していただいています。なかなかマスクができない方もいらっしゃいましたが、繰り返し着用を促すことで、ほとんどのの方がマスクをつけられるようになりました。毎日の取り組みとして習慣化することで意識も上がってきています。



千川おひさま幼児教室・千川さくらっこクラブでは、これまでも「手洗い」は重要な生活習慣のひとつとして捉え、活動の流れの中に組み入れてきました。今回の「コロナ禍」においては、子どもたちが自分で丁寧に手洗いができるように、と子どもにも分かりやすい手順書を掲示したところ、とても上手に洗えるようになりました。手を洗った後は手指の消毒スプレーも自分でかけます。そのおかげで、皆、風邪などもひかず、元気に通ってくれています。

すばる生活介護チーム～昼食作り

すばる生活介護では、4月から第2～4木曜日に昼食をみなさんと作っています。メニューは、なるべく旬の野菜を取り入れるように考えて、話し合いで決めています。今回8月20日は、なすのピリ辛ひき肉いため・ピリ辛きゅうりのたたき・春雨とわかめの中中華スープです！この活動に、みなさんも慣れてきて、それぞれが得意な事を積極的にを行い、とてもスムーズに昼食ができていきました。そして、なおかつ美味しい！いつも終わると「おいしかったね！」という笑顔がこぼれる時間になっています。



障害者福祉センター 令和2年度短期講習会受講者募集

講習会名(講師等名)	期 日	会 場	定 員
①サンドブラスト教室(茂井健司)*	11/10・24、12/8、1/12 (4回) 全火曜日	障害者福祉センター	5名
②椅子に座ってヨガ(昌浦企画)	11/14・28、12/5 (3回) 全土曜日	総合体育館	8名

時間：①10時から11時30分 ②13時30分から14時30分

対象者：市内在住で障害者手帳を持ち、令和2年4月1日現在18歳以上74歳までで一人で受講できる方。定員を超えた場合は抽選し、各開講5日前までに受講の可否を連絡します。

受講料：無料(①は実費、千円前後)

送迎：公共交通機関の利用が困難な方は相談可(①は送迎あり②の送迎はありません。)

主催：武蔵野市

【申し込み・問い合わせ】10月30日金曜日(必着)までにハガキ・ファックス・メールで希望する講習会名(両講習会受講可。両方希望の場合、第1希望を明記)、住所、氏名(ふりがな)、電話番号(あればFAX番号)、年齢、障害の種類と等級、送迎(①のみ)希望の有無、手話通訳希望の有無を記入の上、

障害者福祉センター 〒180-0011 八幡町4-28-13
☎55-3825、FAX51-9951
メール cnt-syogaisya@fuku-musashino.or.jp へ。



*グラスにお好きな図柄や模様、文字などを自由にデザインしてオリジナルグラスを作って楽しみましょう。(加工は業者にします。)